
作者と科学部のとある一日～激闘ッ！数学甲子園ッ！！ 後編～

なかたく

注意事項

このPDFファイルは小説サイト「小説家になろう」で掲載中の小説を、「PDF小説ネット」の変換システムが自動的にPDF化したものです。この小説の著作権は作者にあり、作者または「小説家になろう」および「PDF小説ネット」を運営するウメ研究所に無断でこのPDFファイルおよび小説を引用を超える範囲で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止します。小説の紹介や個人用途での印刷および個人用途での保存はご自由にどうぞ。

【小説名】

作者と科学部のとある一日〜激闘ッ！数学甲子園ッ！！ 後編〜

【Nコード】

N8895B

【作者名】

なかたく

【あらすじ】

史上最大の難関が、名ばかりの科学部に襲いかかるッ！好評につき第三弾、レディ・ゴウだ！

さて、なんだかんだで後半になってしまったわけだが、なんだかんだで一話にまとめてしまってもよかったのではないかと思う今日この頃。

体力測定で千五百メートル持久走をして、ものの二時間後に筋肉痛の痛みに苦しめられながらひしひしと高校一年生のときと比べて体力が落ちたのだなあ、と感じながらも家に帰宅し、英語Writing^{インク}の授業のための予習をしてから、この小説を書いているわけだが………眠い。それが現在の僕ことなかくの素直な感想だ。一日八時間は寝ないと僕は授業の途中で戦闘不能になってしまうので早いところ書き終えて夕食食べて風呂に入って寝ようと思っっている。

……と、こんなことを書いていれば「書く気ねえのか？」というツッコミが飛んできそうなのだが、言っておこう。やる気は十二分にありますよ。

例えるならば凝視で空飛ぶ飛行機を墜落させることができるくらいいやる気がありますよ。……さっぱり例えがわからないかもしれないが、僕もさっぱりわかっていないのでおあいこだ！（やけくそ気味に言うのがコッ）

さて、他愛ない無駄話を延々と述べたところで本題に入っとうか。

数学甲子園……略して数甲^{ウリウリ}。別に略さなくてもいいのだが、現代人はなにかと略をするので試しにしてみることにしたただけだ。

ちなみに僕が知っている略語は、ほかにはパイヤ鈴木を略してパスというものを知っている。……え？言わない？となりのサザエモンが言ってたんだけど……みなさんが言わないと言うのであれば言わないだろうね。

ちなみにこの数甲は初め予選が行われて、その予選の順位の上位何組かが本戦に出場できるというものだった。

さてそれはさておき、数甲の第一試合(?)は個人戦だった。

チーム三人各々に問題用紙が配られ、それを制限時間内に解くというものなのだが……正直に言おう。とんでもなく難しいッ！初めのほうは「お、これってけっこうできるんじゃない？」と、淡い期待を抱いていたのだが、さっぱりダメだった。片手で数えられるほどしか正解していないのではないだろうか……とこのとき思ってしまった。

続いて第二試合目、団体戦だった。

各々のチームごとにひとつの問題を一問ずつ解いていくというものだった。ちなみに問題は六〜八択問題(だった気がする)でその中から答えを選んでいくというものだ。

全部で十二問あり、でたらめに選んでいっても一つ二つは正解できる……確率的に。

しかし、こんな甘い考えがダメだったのか、事態は確率論を凌駕じょうがしてしまうものだった。

「……これだろ、これ」

「え?……でもこれっぽくないか?」

「ええいッ。書けば当たるだろ。これにしよう」

と、我がチームこと“風林火山”はチームメンバーの相性が最悪といっても過言ではなく、各々の意見のぶつけ合い。そして反論するのが面倒臭くなって適当の意見に従って解答するというものだった。運がどうこうという問題ではない気がするな……。

ちなみに“風林火山”はいったい何の略なのかというところ「疾きこと風の如く、徐かなること林の如く、^{おか}侵し掠めること火の如く、動かざること山の如し」であるが、後に平面ぺったんは語り、そしてその語った言葉こそこの“風林火山”に相応しいものだったと認識させられることになるのだ。

そんな凸凹トリオが問題を解き続けた結果、……皆の者、聞いて驚くな。確率論を凌駕した結果になッ！

ずばりッ！十二問中0問正解だッ！！パンパカパーンッ！ヒューヒューッ！ナイスミドルだぜッ！！

………すんません。現実逃避していました。

「0問って……」

信じられないね。運が悪すぎというかなんというか、悪運が強すぎるんだね。そもそも運に頼る問題ではなく考える問題だった気がするけどそんなことすら忘れてしまっくらいショックだったね。

けど実のところ、個人戦では結構稼げている自信がある。さきほど個人戦の問題は難しい、とか言ってたが、実のところ結構あっている自信が根拠なしにあった。

……さて、昼食を食べに行くか。

「おまえら、本戦出れそうか？」

それが昼食中顧問の教師が言った一言だった。

はつきり言えるね、NOと。

なにせ団体戦全問不正解の快拳を成し遂げたわけだし。ある意味

広告募集中

小説関連広告に最適です。
出版社や印刷会社はもちろん、
個人の広告でもOK

縦：140mm 横：110mm

詳しくはPDF小説ネット広告募集をご覧ください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8895b/>

作者と科学部のとある一日～激闘ッ！数学甲子園ッ！！ 後編～

2008年8月29日19時31分発行

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネットは2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。